



ブランディングのカスタマイズ

- [ブランディングの概要 \(1 ページ\)](#)
- [ブランディングの前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [ブランディングのタスク フロー \(2 ページ\)](#)
- [ブランディング ファイルの要件 \(5 ページ\)](#)

ブランディングの概要

ブランディング機能では、Cisco Unified Communications Manager のカスタマイズされたブランディングをアップロードできます。ブランディングは、Cisco Unified CM の管理のログイン ウィンドウと設定ウィンドウに適用されます。変更できる項目には次のものがあります。

- 企業ロゴ
- 背景色
- 枠線色
- フォントの色

セルフケア ポータルでのロゴの追加

ブランディング機能では、企業ロゴを Unified Communications セルフ ケア ポータルのログイン ページとユーザ インターフェイスのヘッダーに追加できます。branding_logo.png ファイルを branding.zip ファイルに含め、zip ファイルを Cisco Unified Communications Manager にアップロードする必要があります。Cisco Unified Communications Manager でブランディングを有効にすると、ロゴがセルフ ケア ポータルに表示されます。

セルフケア ポータルの背景色やフォントをカスタマイズするオプションはありません。

ブランディングの前提条件

指定したフォルダ構造とファイルを含む branding.zip ファイルを作成する必要があります。詳細については、「[ブランディング ファイルの要件 \(5 ページ\)](#)」を参照してください。

ブランディングのタスク フロー

次のタスクを実行して、Cisco Unified Communications Manager および Unified Communications のセルフケア ポータルでブランディングを適用します。

始める前に

- [ブランディングの前提条件 \(1 ページ\)](#) を確認してください。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
Step 1	次のいずれかの手順を使用してブランディング設定を構成します。 <ul style="list-style-type: none"> • ブランディングの有効化 (2 ページ) • ブランディングの無効化 (3 ページ) 	Cisco Unified Communications Manager クラスタ全体でブランディングを適用します。
Step 2	Tomcat サービスの再起動 (4 ページ)	Unified Communications のセルフケア ポータルで新しいブランディング設定を取得するには、Cisco Tomcat サービスを再起動する必要があります。

ブランディングの有効化

この手順を使用して、Unified Communications Manager のブランディングのカスタマイズを有効にします。システムで SAML シングル サインオンが有効になっている場合でも、ブランディングアップデートが表示されます。



- (注) ブランディングを有効にするには、特権レベル 4 のアクセス権を持つプライマリ管理者アカウントを使用する必要があります。これは、インストール時に作成されるメインの管理者アカウントです。



- (注) GUI と CLI のいずれか 1 つだけを使用して、ブランド化を有効にし、無効にするようにしてください。たとえば、GUI インターフェースを使用してブランド化を有効にする場合、GUI インターフェース自体を使用してブランド化を無効にする必要があります。そうしないと、正しく機能しません。

始める前に

branding.zip ファイルを準備し、Unified Communications Manager がアクセスできる場所に保存します。

手順

-
- Step 1** Cisco Unified OS の管理にログインします。
 - Step 2** [ソフトウェアアップグレード (Software Upgrades)] > [ブランディング (Branding)] を選択します。
 - Step 3** リモート サーバを参照し、branding.zip ファイルを選択します。
 - Step 4** [ファイルのアップロード (Upload File)] をクリックします。
 - Step 5** [ブランディングの有効化 (Enable Branding)] をクリックします。

(注) また、**utils branding enable** CLI コマンドを実行して、ブランディングを有効にすることもできます。

- Step 6** ブラウザを更新します。
- Step 7** すべての Cisco Unified Communications Manager クラスタ ノードに対してこの手順を繰り返します。

セルフケア ポータルのユーザ インターフェイスに企業ロゴを追加する場合は、[Tomcat サービスの再起動 \(4 ページ\)](#) 次の手順を参照します。

ブランディングの無効化

この手順を使用して、Cisco Unified Communications Manager クラスタでブランディングを無効にします。セルフケア ポータルから企業ロゴを削除する場合は、ブランディングを無効にする必要もあります。



-
- (注) ブランディングを無効にするには、特権レベル 4 のアクセス権を持つプライマリ管理者アカウントを使用する必要があります。これは、インストール時に作成されるメインの管理者アカウントです。
-



-
- (注) GUI と CLI のいずれか 1 つだけを使用して、ブランド化を有効にし、無効にするようにしてください。たとえば、GUI インターフェースを使用してブランド化を有効にする場合、GUI インターフェース自体を使用してブランド化を無効にする必要があります。そうしないと、正しく機能しません。
-

手順

- Step 1** Cisco Unified OS の管理にログインします。
- Step 2** [ソフトウェアアップグレード (Software Upgrades)] > [ブランディング (Branding)] を選択します。
- Step 3** [ブランディングの無効化 (Disable Branding)] をクリックします。
- (注) また、**utils branding disable** CLI コマンドを実行して、ブランディングを無効にすることもできます。
- Step 4** ブラウザを更新します。
- Step 5** すべての Cisco Unified Communications Manager クラスタ ノードに対してこの手順を繰り返します。
- セルフケアポータルユーザインターフェイスから企業ロゴを削除する場合は、次の手順を実行します。 [Tomcat サービスの再起動 \(4 ページ\)](#)
-

Tomcat サービスの再起動

セルフケアポータルに反映させるには、Cisco Tomcat サービスを再起動してブランディングアップデートを行う必要があります。

始める前に

以下を完了していることを確認します。

- セルフケアポータルにロゴを追加するには、まず Cisco Unified Communications Manager でブランディングを有効にする必要があります。branding.zipアップロードファイルには、企業ロゴが入った44x25ピクセルのbranding_logo.pngファイルが含まれている必要があります。詳細は、[ブランディングの有効化 \(2 ページ\)](#) を参照してください。
- セルフケアポータルからロゴを削除するには、Cisco Unified Communications Manager でブランディングを無効にする必要があります。詳細は、[ブランディングの無効化 \(3 ページ\)](#) を参照してください。

手順

- Step 1** コマンドラインインターフェイスにログインします。
- Step 2** **utils service restart Cisco Tomcat** CLI コマンドを実行します。
- Step 3** すべての Cisco Unified Communications Manager クラスタ ノードに対してこの手順を繰り返します。
-

次のタスク

サービスが再起動したら、ブラウザを更新してセルフケア ポータルの変更を確認します。

ブランディング ファイルの要件

カスタマイズしたブランディングをシステムに適用する前に、所定の仕様に従ってBranding.zip ファイルを作成します。リモートサーバ上で、ブランディングフォルダを作成し、指定されたコンテンツをフォルダに入れます。すべてのイメージファイルとサブフォルダを追加したら、フォルダ全体を圧縮し、ファイルを branding.zip として保存します。

ヘッダーに単一のイメージを使用するか、またはヘッダー用のグレーディング効果を得るために6つのイメージの組み合わせを使用するかに応じて、フォルダ構造には2つのオプションがあります。

表 1: フォルダ構造オプション

ブランディング オプション	フォルダ構造
単一ヘッダーオプション	<p>ヘッダーの背景（吹き出し項目 3）に1つのイメージが必要な場合は、ブランディング フォルダに次のサブフォルダとイメージファイルが含まれている必要があります。</p> <pre>Branding (folder) ccmadmin (folder) BrandingProperties.properties (properties file) brandingHeader.gif (2048*1 pixel image) ciscoLogo12pxMargin.gif (44*44 pixel image) branding_logo.png (44*25 pixel image)</pre>
グレーディング ヘッダー オプション	<p>ヘッダーの背景用にグレーディングイメージを作成する場合は、グレーディング効果を得るために6つの個別のイメージファイルが必要です。ブランディングフォルダには、これらのサブフォルダとファイルが含まれている必要があります。</p> <pre>Branding (folder) ccmadmin (folder) BrandingProperties.properties (file) brandingHeaderBegLTR.gif (652*1 pixel image) brandingHeaderBegRTR.gif (652*1 pixel image) brandingHeaderEndLTR.gif (652*1 pixel image) brandingHeaderEndRTR.gif (652*1 pixel image) brandingHeaderMidLTR.gif (652*1 pixel image) brandingHeaderMidRTR.gif (652*1 pixel image) ciscoLogo12pxMargin.gif (44*44 pixel image) branding_logo.png (44*25 pixel image)</pre>

ユーザインターフェイスのブランディング オプション

次の画像に、Cisco Unified CM の管理ユーザ インターフェイスのカスタマイズ オプションを示します。

図 1: Unified CM 管理ログイン画面のブランディング オプション

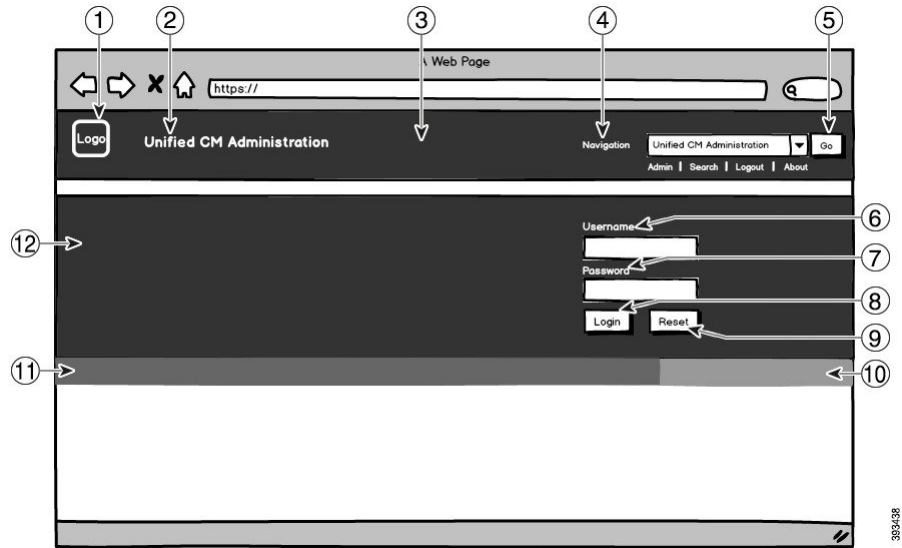
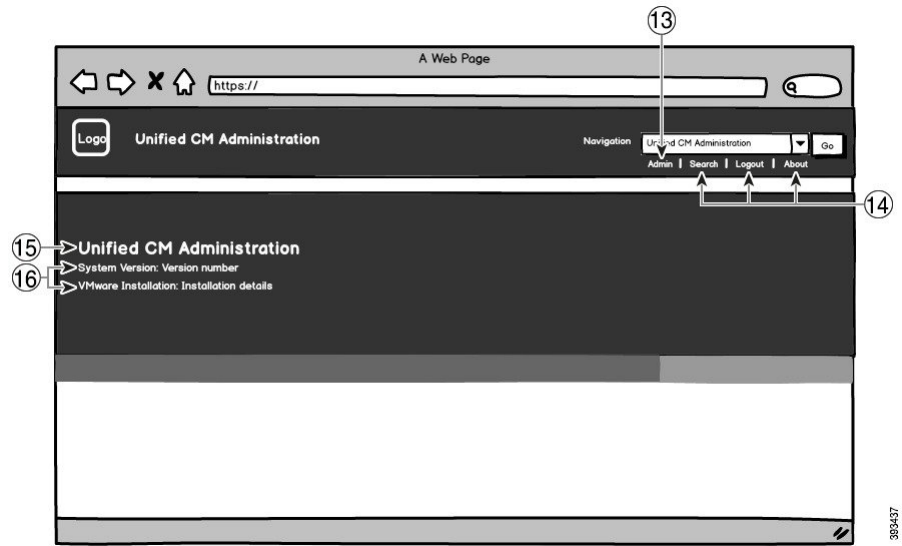


図 2: Unified CM 管理ログイン中画面のブランディング オプション



次の表で、コールアウト オプションについて説明します。

表 2: ユーザーインターフェイスのブランディング オプション: ログイン画面

項目	説明	ブランディングの編集
1	企業ロゴ (Company Logo)	<p>Cisco Unified Communications Manager にロゴを追加するには、会社のロゴを次のファイル名で 44x44 ピクセル イメージとして保存します。</p> <p>ciscoLogo12pxMargin.gif (44*44 ピクセル)</p> <p>(注) セルフケア ポータルのヘッダーとログイン画面にロゴを追加する場合も、ロゴを 44x25 ピクセルの branding_logo.png ファイルとして保存する必要があります。</p>
2	Unified CM 管理ヘッダーのフォントの色	heading.heading.color
3	ヘッダーの背景	<p>1 つの画像を使用するか、または 6 つの画像の組み合わせを使用してグレーディング効果を作成できます。</p> <p>シングル イメージ オプション: 単一のイメージとして、ヘッダー背景を保存します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • brandingHeader.gif (2048*1 ピクセル) <p>グレーディングバックグラウンドオプション: グレーディング効果を得るために 6 つのイメージとしてヘッダー背景を保存します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • brandingHeaderBegLTR.gif (652*1 ピクセル) • brandingHeaderBegRTR.gif (652*1 ピクセル) • brandingHeaderEndLTR.gif (652*1 ピクセル) • brandingHeaderEndRTR.gif (652*1 ピクセル) • brandingHeaderMidLTR.gif (652*1 ピクセル) • brandingHeaderMidRTR.gif (652*1 ピクセル)

項目	説明	ブランディングの編集
4	ナビゲーション テキスト	header.navigation.color
5	[移動 (Go)] ボタン	header.go.font.color header.go.background.color header.go.border.color
6	ユーザ名テキスト	splash.username.color
7	パスワードのテキスト	splash.password.color
8	[ログイン (Login)] ボタン	splash.login.text.color splash.login.back.ground.color
9	リセット ボタン	splash.reset.text.color splash.reset.back.ground.color
10	背景下の色: 右側	splash.hex.code.3
11	背景下の色: 左側	splash.hex.code.2
12	Banner	splash.hex.code.1

表 3: ユーザインターフェイスのブランディングオプション: ログイン中画面

項目	説明	ブランディングの編集
13	ユーザテキスト (たとえば、「admin」)	header.admin.color
18	検索、バージョン情報、およびログインテキスト	header.hover.link.color
15	Unified CM 管理のテキスト見出し	splash.header.color
16	システムのバージョン、VMware のインストールテキスト	splash.reset.text.color splash.version.color

ブランディング プロパティの編集例

ブランディング プロパティは、プロパティ ファイル (BrandingProperties.properties) に 16 進コードを追加することで編集できます。プロパティ ファイルは HTML ベースの 16 進コードを使用します。たとえば、ナビゲーションテキスト項目 (吹き出し項目 #4) の色を赤に変更する場合は、プロパティ ファイルに次のコードを追加します。

```
header.navigation.color="#FF0000"
```


このコードで、`header.navigation.color` は編集するブランディングプロパティで、"#FF0000" は新しい設定（赤）です。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。